【社会福祉学科】

担当教員	模擬講義		研究キーワード
	講義テーマ	講義内容	
石附 敬	超高齢社会に生きる私たち	日本の人口の高齢化、人口減少、過疎化が急速に進む現状と、それに伴う高齢者を取り巻く生活課題について考えます。また、このような時代における社会福祉専門職の役割について考えます。	超高齢社会、人口減少、過疎化、地域包括ケア
	社会福祉の学び	社会福祉学とはどんな学問なのか。また、社会福祉の実践であるソーシャルワークの専門的視点とは何か。大学で社会福祉をどのように学ぶのかについて、説明します。	社会福祉
黒田 文	ソーシャルワーク：最初の一歩	ソーシャルワークが成立する要件や専門性について考えます。支える／支えられるを物語として捉えると何が見えてくるかを考えます。	支援／援助方法論、当事者主体の支援論、エンパワメント・グループ
金 政信	ボランティア活動の心得と視点	①ボランティア活動とは ②ボランティア活動の概念 ③実践事例からボランティア活動を学ぶ ④ボランティア活動で期待できる効果 ⑤ボランティア活動とマナー	自助・互助・共助・公助、効果、 マナー
佐藤 伊知子	根性ってなんだろう？	「根性がある」「精神的に強い」という言葉はよく耳にしますが、何がどのように強いのか漠然としていてわかりづらいですよね。その正体を理解し、強化することができたら今より少し強くなれそう。そんな自分を作りませんか？	スポーツ、コーチング、メンタルマネジメント
関川 伸哉	社会をアップデートする学び ― 福祉から考える未来	福祉というと、「誰かを助けること」と思われがちです。しかし、これからの福祉は、人を変えようとするのではなく、誰もが自然に生きやすくなる“環境”や“しくみ”をつくる学びです。人生100年時代の中で、支える人・支えられる人という分け方は、少しずつ意味を失いつつあります。誰もが役割を持ち、状況に応じて支え合いながら生きていく社会へと変わっています。この講義では、日常生活の中にある「ちょっとした不便」や「当たり前」を出発点に、社会のしくみをどう変えれば、もっと生きやすく、面白い社会になるのかを考えます。大学での福祉の学びが、「生活をつくる学び」であることを体感しながら、自分自身の未来の可能性についても広げていきます。	リハビリテーション科学、障害者・高齢者の生活支援
高橋 誠一	地域外の力を活かした地域づくりの支援	一部の地域では人口減少が進み、地域外の力を活かした地域づくりの取り組みが注目を集めています。先進事例を紹介しながら、その持続可能性について学びます。	よそ者、関係人口、移住者
竹之内 章代	生活の中の福祉	私たちが暮らしていく中で、社会福祉の制度や仕組みがどのように関わっているのかを事例を通して学びます。	LGBTQ+などジェンダーに関わること、子ども家庭福祉に関すること、障がい児の支援に関わること
	多様性と生きる	ジェンダーや差別の課題を「多様性」をキーワードに、事例を通して考えていきます。	
	障がいがあること・育つこと	障がいがある子どもが地域で育つためにはどのような支援や仕組みが必要か、これまでの社会福祉士としての実践と関わった事例を通して学びを深めていきます。	
田中 尚	社会福祉学入門	社会福祉への関心を深め、改めて「福祉とはなんだろう」という素朴な疑問を発展させて、社会福祉を学ぶことへのきっかけとなる授業を行います。大学では、そのような素朴な疑問を出発点にし、自らの関心を広げ、深めていく、主体的に学びが基本となります。この講義では社会福祉問題の理解のあり方を中心に学び、それらを通して、今後の大学での学びにつなげていっていただければと思います。	社会福祉とは何か、社会福祉問題の捉え方、社会福祉の存在意義
似内 寛	“伝わらない”をなくす『分かりやすさ』の設計―情報デザインで学ぶ、すべての人に届く情報のデザイン	世の中には情報が溢れていますが、理解しづらい・わかりにくいものがあります。同じ内容でも、提示方法や見せ方によって理解しやすさは大きく変わります。本講義では、高齢者でも若者でも、専門家でも初めての人でも、異なる背景を持つ人が必要な情報に確実にアクセスできるよう、“分かりやすく伝える”ための情報の設計プロセスを学びます。	わかりやすい情報提供、ユーザー中心の考え方、「すべての人に届く」という発想
三浦 剛	なぜ社会福祉が必要か	① 講義 社会福祉とはなんだろう。自分のことではないのに、なぜ他人を支援したり､そのための制度を守ろうとするのだろうか。ここではその理由を「利他の心」と「同じ人間としての平等」から一緒に考えます。 ② 演習 利他の心や同じ人間としての平等について、簡単な面接(相談)場面を設定して、体験し、そこから気づいてもらう演習をします。 ＊①､②を別々に、あるいは1コマにまとめても実施します。	利他心、平等、社会福祉
三城 大介	精神的困難と支援	「精神的困難」って何でしょう。精神疾患とどう違うのか？そして精神的な困難のある人に必要な支援とは？治療の具体的な方法や服薬の効果、副作用などと併せて、支援とは何か考えていきます。	精神的困難・支援、精神疾患、投薬治療、精神療法
山野 英伯	介護福祉と医療の連携	介護福祉士が医行為の一部を担うに至った背景とはどのようなものか。24時間・365日に渡り、介護サービスを必要としている要介護者や家族はどのような状況に置かれているか。これを受けて、介護福祉職としての専門性は何かを考える。	・多職種連携 ・安全と安楽 ・介護の専門性
相場 恵	「当たり前」を問い直す ― 生理ケアから考える福祉の視点	生理は誰にでも起こる自然な現象ですが、障害のある人にとっては十分に理解されず、適切な支援が行われていないこともあります。本講義では、生理ケアを通して「当たり前」とされている支援を見直し、一人ひとりの尊厳を守る福祉の視点について考えます。	生理（月経）ケア、尊厳、障害者
	自立って何だろう？ ― 支援と自立の関係を考える	「自立＝一人でできること」と考えられがちですが、福祉の分野では支援を受けながら自分らしく生活することも 自立と捉えます。本講義では、日常生活の具体例をもとに、自立の意味を問い直し、支援との関係を通して多様な生き方について考えます。	自立支援、介護福祉士
大石 剛史	自分が主役の「福祉（ふくし）」を考える	福祉はよく「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせ＝「ふくし」と表現されることがある。「ふくし」は他人事（ひとごと）ではなく、自分にも身近な自分事（じぶんごと）でもある。身近な生活の中に「ふくし」を感じ、自分が主役＝当事者としての福祉を考える	福祉、「ふくし」とは何か、自分事としての福祉（ふくし）、福祉の当事者性
太田 聡一	AI翻訳がある時代に英語を学ぶ意味とは？	海外に行くこと自体が容易ではなかった時代から、AIの進化によって「翻訳こんにゃく」が現実になりつつある現代に至るまで、なぜ英語（外国語）の学習は義務教育のカリキュラムに組み込まれているのでしょうか。さらに、日本国内のほとんどの大学でも、英語は基盤教育（一般教養）として必修科目に位置づけられています。そこには、単なる「語学」の習得にとどまらない、英語（外国語）を学ぶ意義が存在します。 この講義では、ともすると「なぜ学ぶのか分からないまま、ただやらされている」という感覚から、英語（外国語）の学習に苦手意識や嫌悪感を抱いてしまいがちな皆さんに向けて、英語を学ぶ意味について一緒に考えていきます。そして、学習に少しでも前向きに取り組めるようになるために、ぜひ知っておいてほしい視点をお伝えします。	AIと教育、異文化理解、グローバル化、人工知能（AI）、ChatGPT、教養教育
狩野 俊介	「生きづらさ」ってどこからやってくるの？	精神疾患、難病等のような慢性的な疾患を抱えることで本人が感じる「生きづらさ」ってどのように生じるのか、個人と環境の関係から学びます。	生きづらさ、慢性的な疾患
	対話とは何か：「話すこと」と「聞くこと」	私たちが他者と日常的に行っている「話す」「聞く」について簡単なワークを取り入れながら、体験的に考えてみます。	対話、話すこと／聞くこと
君島 昌志	こどもや家庭に関する諸問題	こどもの権利、虐待、社会的養育、男女共同参画などの現状と課題について学びます。	児童福祉、こどもの権利、虐待、DV、施設養護・里親、ジェンダー

後藤 美恵子	『ちょっと世界を見よう!!』開発途上国から考える社会福祉	『開発途上国は「貧しい国」なの？』貧困・飢餓・路上生活・人身売買・児童労働・未就学児童・戦争・内戦など、世界を取り巻くさまざまな国際問題に言及しながら、「開発途上国」の事実を知り真実を問うことから社会福祉を考えてみます。	国際福祉、開発途上国、貧困
清水 冬樹	助けてといえない若者たち	生活に困難を抱える若者は少なくありません。しかし「自分で何とかしなければ」という意識から、支援を求めない若者も多くいます。食料を無償で提供するフードバンクの利用実態や調査結果をもとに、若者がどのような状況に置かれているのか、そしてなぜ支援が届かないのかを、データと現場の声から読み解いていきます。	若者、コミュニティ、The personal is political
菅原 里江	「“ひとりじゃないのに孤独・孤立”ってなんだろう？」	人がたくさんいるのに、孤独を感じたり、孤立したりするのはなぜなんだろう。ミニワークを通して、体験的に学びながら「一人で抱えなくていい社会」を支えるしくみやソーシャルワークの役割に触れます。	ソーシャルワーク、地域福祉活動、メンタルヘルス
鈴田 泰子	子どもとスクールソーシャルワーカー	発達のつまずきや不登校など、学齢期の子どもたちにはさまざまな生活課題が生まれます。それらを改善したり軽減しようとするとき、スクールソーシャルワーカーの働きが役に立つことがあります。さて、どんなときに、どんな役に立つのでしょう？	発達障がい、不登校、スクールソーシャルワーク
	発達につまずきのある子どもの理解	子どもが発達して成長する過程において、さまざまな発達特性があらわれるのをしばしば目にします。そうした子どもたちとともに過ごし、ともに生きるために、私たちは何を理解することから始めればいいのでしょう？	
高野 亜紀子	子どもを取り巻く環境と子ども家庭支援	少子化、子どもの虐待、貧困問題等、子ども家庭福祉分野における諸問題に言及しながら、子どもや子育て家庭に対する支援のあり方について学びます	少子化、子ども虐待、子どもの貧困、子育て支援
	子ども家庭福祉の専門職	児童福祉施設や保育施設において、子どもや子育て家庭に携わる専門職の役割と支援のあり方について学びます	保育士、社会福祉士、保育所、児童福祉施設
	地域における子ども家庭支援	子育て家庭の現状や生活課題を理解しながら、誰もが安心して生き生きと子育てを楽しめるような子育て支援のあり方について学びます	地域子育て支援、保育所、NPO
千葉 伸彦	子どもの貧困について	日本国内における「子どもの貧困」をテーマに、子どもたちを取り巻く環境や子どもの貧困が与える影響について考えます。 また、子どもの居場所について考える機会とします。	児童家庭福祉、社会福祉、支援とはなにか
	自分を知る・他者を知る	演習形式で自分の価値観を理解する体験をし、他者との価値観の異なりについて考える機会とします。自分のことは意外と知らないかもしれません。	
芳賀 恭司	支援者のジレンマについて	実際の支援を進める中で、さまざまなジレンマが出てきます。それをどう解決して支援を継続するか。演習を通じてその辺を学んでいきます。	ソーシャルワーク、ジレンマ
	社会福祉施設って何だろう	身近にある施設の成り立ちや背景を理解し、地域の社会資源としてどう活用するのか、関わっていくのを考えます。	社会福祉施設
平川 昌宏	福祉心理学入門	「心理学者、福祉を語る！？」心理学の観点から、「福祉」という営みについてお話ししていきます。	保育所、保育者に対する支援、障がい児等への「育ち」の支援
	子どもにとって「最善の利益」とは？	児童家庭福祉の目標は「子どもの最善の利益」を尊重することが大切になります。では、「子どもの最善の利益」とは具体的にどのようなことなのでしょうか？ ある映画の内容を題材にしながら、一緒に考えていきたいと思います。	
	自己理解ワーク	簡単なワークを通して、「自分」をとらえ直していくと同時に、より豊かな自己理解のためのヒントについてお話をしていきます。	
	保育の場における発達が気になる子の支援	保育の場における発達が気になる子の支援についてのお話を通して、「保育」とその可能性（素晴らしさ）についてお話をしていきます。	
広浦 幸一	社会福祉から見た災害と支援 あなたが災害弱者だったら ―そのとき何が起き、何が困るのか	災害時や復旧・復興の過程で取り残されがちな人びと（福祉の対象者や被災者など）が、どのような状況に置かれ、どのようなことに困るのかを理解します。 そのうえで、自分にできることを考えるとともに、福祉の専門職がどのような支援を行うのかを知り、大学での学修につなげていただきたい。	要配慮者の避難と避難生活、災害と福祉専門職
二渡 努	介護分野における外国人介護人材の活躍支援について	現在、我が国の介護分野では介護人材の確保が喫緊の課題となっており、その対応策の一つとして、外国人介護人材の受入れを積極的に推進しています。介護の質の担保や外国人介護人材の定着促進の観点から、実際の事例を踏まえながら、外国人との共生について考えます。	外国人介護人材、多文化共生
眞嶋 智彦	社会福祉と医療福祉について	社会福祉の概要を導入とし、医療福祉の広義と狭義の定義を学び、狭義の定義とほぼ同義である医療ソーシャルワーカー（MSW）業務の概要を実例を交えて講義します。	社会福祉、医療福祉、医療ソーシャルワーク、社会福祉士
元村 智明	社会福祉の必要性を人生で考える	社会福祉の必要性を自らの人生設計のなかで考えてみます。日本社会の24時間や100人のなかで法制度の整備と個別対応の必要性について確認したいと思います。	福祉と社会福祉、社会福祉と日常生活、生活課題と専門職
李 成曼	省略現象	英語や、中国語、日本語、ミャンマー語などにおける省略現象を研究し、3つの課題を考察する： ①どのような条件下で構成素の省略が許容されるのか ②省略された構成素は統語論的にどのように表されるのか ③どのように適切に解釈されるのか。	項省略、空項、動詞句省略、間接疑問文縮約省略
阿部 利江	インクルーシブ防災を「ふくし」の視点で考える	至るところで発生している自然災害。その自然災害に備える「地域（まち）づくり」が取り組まれています。福祉や教育と防災を結び付け、障がい者や高齢者を含め、多様な人々を「誰ひとり取り残さない」というインクルーシブ防災の理念から、私たちができることは何かを一緒に考えます。	インクルーシブ防災、福祉教育、ボランティア学習
	ボランティアの可能性を探る	ボランティア活動への期待が高まる今日、なぜ必要とされるのか、どのような役割があるのか、福祉や教育の視点から考え、目的と成果など「ボランティアの力」を学びます。そして、支援する側と支援される側の立場でなく、ともに生きる人々のなかから「ボランティアの可能性」を探ります。	
氏家 享子	「’福祉’って何だろう」	自分の価値観について意識して考えることを通して、様々な人にとっての’福祉’について、アクティビティなどの体験を通して考えます。	福祉とは何か
	「子どもの育ちを支える支援」	発達的な観点から、子どもが子どもらしく安心して過ごせる支援のあり方について、疑似体験等を通して様々な観点から考えます。	子育て支援、発達
小野 芳秀	「助けて」と言える社会とは？ ― 心の健康とつながりを考える	精神保健福祉の研究や社会福祉士・精神保健福祉士としてのスクールソーシャルワークの実践をもとに、孤立や生きづらさを抱える人への支援について学びます。高校生活にも身近な「心の健康」と「人とのつながり」について考える講義です。	精神保健福祉、ソーシャルワーク、ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）
	ボランティアで社会は変わる？ ― 地域福祉と支え合いの力	NPO法人を通じた地域福祉活動やボランティアセンターのコーディネーターとしての実践経験を踏まえ、災害支援や地域活動を例に、「誰かを支える経験」が自分自身や地域社会をどう変えるのかを学びます。福祉を「特別な仕事」ではなく「身近な行動」として捉える入門講義です。	

佐藤 泰伸	福祉とは	福祉を学ぶための1歩「福祉とは」をわかりやすく、かつ「自利・利他円満」を踏まえて解説します。専門用語はあまり使用せず、「福祉は身近なことであり特別なものではない」ことについて理解を深めます。	福祉、社会福祉、行学一如、自利・利他円満